

興南・陽明九州頂点

高校ハンド

男子興南は35-30で大分雄城台を破り、女子陽明は25-17で大分鶴崎を下し、ともに九州の頂点に立った。

女子2位代表の那覇西は代表決定戦で27-22で熊本平体育館で行われ、決勝戦 国府に勝ち、全国大会出場



女子決勝 陽明-大分鶴崎 前半、陽明の久志菜摘が2点目のシュートを決める

八重瀬町東風平体育館(田嶋正雄撮影)

攻守圧倒 7年ぶりV

女子陽明が、大分鶴崎を速さとしつこく上回り、大差で7年ぶりの優勝を飾った。前半は焦りからミスもあり、得点は伸び悩んだ。「ディフェンスは機能している」と声掛け合い落ち着きを取り戻し、後半約10分、一線ディフェンスを3-3に変えると相手はあきらめた。速攻やトリッキーな攻めで相手を翻弄(ほんろう)し、差を広げた。

又吉春花主将は「最高。これまで練習してきたことを出して、陽明らしい試合ができて楽しかった」と笑顔を見せた。

チームの目標は「全国制覇」。佐平牧生監督は「セット攻撃などを修正して次の次を以て試合が組み立てられるようにしたい」と、全国に向けて意気込んでいる。

▽代表決定戦

陽明 25 11-9 17大分鶴崎
14 8

那覇西 27 12-15 22熊本平府
15 7

興南 35 18-13 30大分雄城台
17 17

小林秀峰(宮崎) 33 20-12 28
長崎巨匠 22 13-10 18
【女子】
▽決勝

(安里真巳)



男子決勝 興南-大分雄城台 後半、興南の屋比久浩之がシュートを放つ

ミス修正 快勝でV2

男子興南が、前日までの苦戦を吹っ切るような快勝で、2連覇を決めた。

左45度のエース比嘉成希は先制点をはじめ前半で6得点と活躍。「昨日までは前半で点が伸びなかったため、最初から飛ばそうと思った」と、試合の流れを引き寄せたことに納得の表情。ただ、マークがきつくなり後半は3得点。「どんな

にマークされても振り切っていくようにしたい」と反省も。

黒島宣昭監督は「前日までのミスの多さを修正できた」と評価。全員プレーで勝てたことを喜んだが「ゲームをもっと組み立てられるようになれば」と全国での上位進出に向けて選手の成長に期待した。

那覇西全国切符

県2位代表の女子那覇西が、代表決定戦で熊本国府を破り、全国切符をつかんだ。前半は一時5点差をつけたが、後半挽回。19分に逆転すると徐々に差を広げ、最後は逆に5点差をつけて勝った。

由良日香里主将は「全国大会にどうしても行きたかった。後半は、チームが一つになれた」と勝利を喜んだ。

下地保監督は「前半よく我慢した。最後まで、きれいに戦えた」とホッとした表情。けが人が多く、これまでと違うポジションで奮闘した選手も、「互いにカバーして成長できた。チームに負けてこなくて良かった。総体では成長した姿を見せたい」と気持ちの切り替えた。

コザは逃す

県2位で出場し代表決定戦まで勝ち上がった男子コザだったが、後半に逆転を許し、全国出場権を逃した。普久原主将は「悔しい。相手は後半の戦い方がうまかった。県大会で興南に負けてこなくて良かった。総体では成長した姿を見せたい」と気持ちの切り替えた。



女子代表決定戦 那覇西-熊本国府 後半、那覇西の玉城令也がシュートを放つ